

令和4年度 第5回 地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会 会議録

1 日 時 令和5年1月24日(火) 19時00分～19時30分

2 場 所 静岡県産業経済会館3階 第一会議室

3 出席者

(1) 評価委員会委員

藤本委員長、青山委員、久朗津委員、福地委員、望月委員

(2) 静岡市

吉永保健衛生医療統括監、山本保健衛生医療部長、鈴木保健衛生医療課長、
稲葉市立病院・公営企業担当課長、山田主査、山川主査

(3) 地方独立行政法人静岡市立静岡病院

宮下理事長、小野寺副理事長兼病院長、平松副理事長、上松理事、山田理事兼副病院長、
前田理事兼副病院長、塚本副病院長兼看護部長、漆畑事業管理部長、小林医事経営部長、
初田総務課長、小長井人事課長、吉田施設課長、傳刀医事課長、井上副センター長

4 傍聴者 0人

5 議 題

(1) 第3期中期計画案について

(2) 第3期中期計画案の認可に係る意見書について

6 会議内容

(1) 第3期中期計画案について

○漆畑事業管理部長

資料1 第3期中期計画案の変更について

資料2 第3期中期計画案 に基づき説明

○藤本委員長 ただ今の静岡病院の説明を受けまして、委員の皆様からご意見、ご質問などありましたらお願いします。

○福地委員 予算の根拠について、これまでの決算を基に予算を立てたと思われるのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。また、医業収益は診療報酬改定を見込まないという説明でしたが、他の項目については、決算に対して今後の4年間の状況を考慮して計画を立てたということによろしいでしょうか。

○漆畑事業管理部長 まず令和5年度から令和8年度までの収益を考えるに当たって、空床補償は見込んでおりません。令和5年度はコロナの影響を見込んでいますが令和6年度からは経常収支を均衡にする意味もあり令和元年度と同程度に戻る想定で積算しております。

○福地委員 過去の実績を参考にするのが通常かと思いますが、需要の変化も考慮すべきものと考えます。患者さんのニーズや患者数の変化についても考慮されているということによろしいでしょうか。それと、もう少し、こういう根拠でこういう数値になったという説明の方がわかりやすいと感じました。

○小野寺病院長 これからの医療需要、ポストコロナがどうなるかは読むことが難しいということはありません。コロナが無ければ、当院は高度急性期の患者を中心に診ている病

院ですので、医療需要はそれほど変わらないだろうというのが私の見方です。ただ実際にコロナの後どうなるかというのは日本中誰も読めないものと考えています。

○福地委員 支出について、特に給与費は今後の働き方改革とともに考えていかなければなりません。今後日本全体で賃金が上昇していくことになるかと思うのですが、ベースとなるのがどのくらいでどの程度の増加を見込んでいる等もう少し説明があった方がわかりやすいと感じました。

○漆畑事業管理部長 支出については、令和4年4月から12月までの実績を基に算出していますが、経常収支比率100%を目指して収支均衡させた予算であるという側面もございませう。

○藤本委員長 コロナで減った患者さんがどこまで戻るかという点が大変なところかと思いますが、令和6年度から戻すことを前提とした頑張った収支計画であると受け止めました。他の点についてはいかがでしょうか。

○久朗津委員 運営費負担金について、令和3年度の決算書をみると、運営費負担金の欄に“中期計画どおり”という記載があるのですが、今回の中期計画案の運営費負担金の4年間の総額はこれで確定したものということでよろしいのでしょうか。

○漆畑事業管理部長 市の予算の内示を受けた数字を記載しております。

○藤本委員長 そのほかはよろしいでしょうか。

それでは、本評価委員会におきましては、第3期中期計画案について、この内容で市が認可することが適当であると思いたいと考えますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

○藤本委員長 それではそのように進めさせていただきます。

(2) 第3期中期計画案の認可に係る意見書について

○稲葉担当課長

資料3 意見書(第3期中期計画案の認可に係る意見書) に基づき説明

○藤本委員長 ただ今の説明について、ご意見等ありましたらよろしくお願ひします。

(特になし)

それでは、意見書については、評価委員会として、意見書案に記載のとおり「この中期計画案で認可することが適当である」としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○藤本委員長 それではそのようにさせていただきます。

(3) 宮下理事長挨拶

(4) 吉永保健衛生医療統括監挨拶

(5) 閉会